



# 進路通信

令和6年10月18日【2年生・第3号】

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保  
発行 進路指導部

## 後期インターンシップが始まっています

初めて1人で通勤し、1週間または2週間仕事を中心の生活をする…。初めてづくしの前期インターンシップ期間が終わり、後期インターンシップが始まっています。インターンシップに行く前の緊張感はとても強く、不安も期待も大きかったことでしょう。インターンシップ中、成功も失敗もそれぞれあったと思いますが、自分にできること、得意なことや苦手なこと、自分の新しい可能性等を知ることができたはずです。後期は、前期インターンシップとは別の職種を経験しますので、この体験を自分の将来を考える上での材料にしてほしいと願っています。

インターンシップにはご家庭の支援が欠かせません。保護者の皆様には、日誌記入や日々の励まし、お弁当作り等、多くの面でご協力をいただきありがとうございました。後期もよろしく願いいたします。

### 生徒の感想

・最初は保育園や小さい子たちとなじめるか不安でしたが、すぐに職員の先生方や子供たちとなじめで良かったです。反省は声の大きさです。しっかり相手にわかるくらい大ききで話しかけないと聞えないということがわかりました。仕事は、一生懸命集中して行うことが大切で、休む時と作業する時では、はじめが大切だと思いました。また、臨機応変に対応することは、どの職種でも生かせると思うので、継続できるよう次のインターンシップでも取り組みます。(職種：保育)

### 保護者からの声

- ・はじめて経験することが多く、とても勉強になったようです。前回のインターンシップで課題となっていたところも本人なりに改善できたとのこと。実際に働くタイムテーブルを経験して、就職後の生活が具体的になり、今後の学習のモチベーションになったようです。
- ・前回のインターンシップと今回とを比べて、どちらが自分に合っているか、次はどんな職種にするかなど、次に向けて悩んでいました。

## ～後期インターンシップに向けて～



前期インターンシップとの大きな違いは、『2回目のインターンシップとして見られる』という点です。作業能力や技術においては、職場によって仕事内容が違うので、なかなかできないことや難しいことがあるのは仕方ありません。インターンシップ中に少しでも成長できるように努力をすれば良いことです。しかし、挨拶、言葉遣い、仕事に向かう姿勢や態度、報告・連絡・相談、身だしなみ、持ち物の管理など、どの職場でも共通する基本的な事柄はそうはいきません。「まだ慣れていないから難しい」という言い訳は通じません。2年生のこの段階でどこまでしっかりできているか、という視点で見られます。また、前期インターンシップで明らかになった課題は後期の目標に設定し、達成できるよう努力することが必要です。いつまでたっても目標が同じという状態を続けるのではなく、課題は一つずつクリアし、次のステップへと成長できるようにしましょう。